

【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年12月28日
【計算期間】	第3期中（自平成29年4月7日 至平成29年10月6日）
【ファンド名】	三菱UFJ 債券バランスファンド＜為替リスク軽減型＞（年1回決算型） 三菱UFJ 債券バランスファンド＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）
【発行者名】	三菱UFJ国際投信株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 松田 通
【本店の所在の場所】	東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
【事務連絡者氏名】	伊藤 晃
【連絡場所】	東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
【電話番号】	03-6250-4740
【縦覧に供する場所】	該当ありません

（注）この半期報告書は、金融商品取引法（昭和23年法律第25号）第7条第4項の規定により、平成29年7月5日付をもって提出した有価証券届出書の訂正届出書とみなされます。

1【ファンドの運用状況】

【三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型>（年1回決算型）】

(1)【投資状況】

【投資状況】

平成29年10月31日現在

(単位：円)

資産の種類	国/地域名	時価合計	投資比率(%)
投資信託受益証券	ケイマン諸島	2,173,562	97.81
親投資信託受益証券	日本	1,001	0.05
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)		47,669	2.14
純資産総額		2,222,232	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

【投資資産】

(a)【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位30銘柄

平成29年10月31日現在

国/地域	銘柄	種類	業種	口数	上段：帳簿価額 下段：評価額		利率(%) 償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
					単価(円)	金額(円)		
ケイマン 諸島	マルチセクターバリュエーション ファンド - JPYヘッジ ドクラス	投資信託 受益証券		242.6934	9,030.59 8,956.00	2,191,666 2,173,562		97.81
日本	マネー・マーケット・マザー ファンド	親投資信託 受益証券		983	1.0184 1.0184	1,001 1,001		0.05

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類/業種別投資比率

平成29年10月31日現在

種類/業種別	投資比率(%)
投資信託受益証券	97.81
親投資信託受益証券	0.05
合計	97.85

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

(b)【投資不動産物件】

該当事項はありません。

(c)【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(2)【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および平成29年10月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

(単位：円)

	純資産総額	基準価額 (1万口当たりの純資産価額)
第1計算期間末日 (平成28年4月6日)	1,391,070 (分配付) 1,391,070 (分配落)	9,680 (分配付) 9,680 (分配落)
第2計算期間末日 (平成29年4月6日)	1,674,104 (分配付) 1,674,104 (分配落)	10,064 (分配付) 10,064 (分配落)
平成28年10月末日	1,532,531	10,078
11月末日	1,520,698	9,903
12月末日	1,570,994	9,942
平成29年1月末日	1,604,524	9,999
2月末日	1,615,209	10,065
3月末日	1,670,800	10,044
4月末日	1,669,528	10,097
5月末日	2,044,837	10,142

6月末日	2,064,292	10,141
7月末日	2,096,223	10,177
8月末日	2,124,846	10,196
9月末日	2,147,858	10,189
10月末日	2,222,232	10,192

【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	0円
第2計算期間	0円

【収益率の推移】

	収益率(%)
第1計算期間	3.20
第2計算期間	3.96
第2計算期間末日から 平成29年10月末日までの期間	1.27

(注)「収益率」とは、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額)を控除した額を当該基準価額(分配落の額)で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。ただし、第2計算期間末日から平成29年10月末日までの期間については平成29年10月末日の基準価額から当該基準価額(分配落の額)を控除した額を当該基準価額(分配落の額)で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

【三菱UFJ債券バランスファンド<為替ヘッジなし>(年1回決算型)】

(1)【投資状況】

【投資状況】

平成29年10月31日現在
(単位:円)

資産の種類	国/地域名	時価合計	投資比率(%)
投資信託受益証券	ケイマン諸島	2,073,541	97.77
親投資信託受益証券	日本	1,001	0.05
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)		46,188	2.18
純資産総額		2,120,730	100.00

(注)投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

【投資資産】

(a)【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位30銘柄

平成29年10月31日現在

国/地域	銘柄	種類	業種	口数	上段:帳簿価額 下段:評価額		利率(%) 償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
					単価(円)	金額(円)		
ケイマン 諸島	マルチセクターバリュー ボンドファンド-JPYノン ヘッジドクラス	投資信託 受益証券		233.5595	8,713.93	2,035,222		97.77
					8,878.00	2,073,541		
日本	マネー・マーケット・マザー ファンド	親投資信託 受益証券		983	1.0184	1,001		0.05
					1.0184	1,001		

(注)投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類/業種別投資比率

平成29年10月31日現在

種類/業種別	投資比率(%)
投資信託受益証券	97.77
親投資信託受益証券	0.05
合計	97.82

(注)投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

(b)【投資不動産物件】

該当事項はありません。

(c)【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(2) 【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および平成29年10月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

(単位：円)

	純資産総額	基準価額 (1万口当たりの純資産価額)
第1計算期間末日 (平成28年4月6日)	1,890,670 (分配付) 1,890,670 (分配落)	9,036 (分配付) 9,036 (分配落)
第2計算期間末日 (平成29年4月6日)	2,316,124 (分配付) 2,316,124 (分配落)	9,608 (分配付) 9,608 (分配落)
平成28年10月末日	2,193,032	9,060
11月末日	2,308,320	9,537
12月末日	2,394,755	9,894
平成29年1月末日	2,349,109	9,745
2月末日	2,330,577	9,668
3月末日	2,313,143	9,596
4月末日	2,326,929	9,653
5月末日	2,016,484	9,688
6月末日	2,048,201	9,840
7月末日	2,028,256	9,744
8月末日	2,030,938	9,710
9月末日	2,078,180	9,936
10月末日	2,120,730	9,998

【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	0円
第2計算期間	0円

【収益率の推移】

	収益率 (%)
第1計算期間	9.64
第2計算期間	6.33
第2計算期間末日から 平成29年10月末日までの期間	4.05

(注) 「収益率」とは、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額)を控除した額を当該基準価額(分配落の額)で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。ただし、第2計算期間末日から平成29年10月末日までの期間については平成29年10月末日の基準価額から当該基準価額(分配落の額)を控除した額を当該基準価額(分配落の額)で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

<参考>

「マネー・マーケット・マザーファンド」

投資状況

平成29年10月31日現在

資産の種類	国/地域名	時価合計	投資比率 (%)
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)		1,231,836,747	100.00
純資産総額		1,231,836,747	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

(a) 投資有価証券の主要銘柄

該当事項はありません。

(b) 投資不動産物件

該当事項はありません。

(c) その他投資資産の主要なもの
該当事項はありません。

[参考情報]

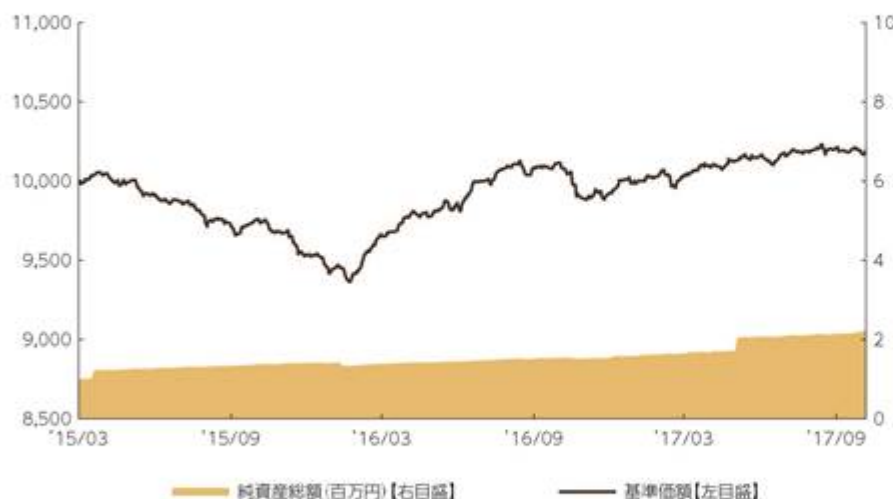


運用実績

2017年10月31日現在

為替リスク軽減型

■基準価額・純資産の推移 2015年3月25日(設定日)～2017年10月31日



- 基準価額は10,000を起点として表示
- 基準価額は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■基準価額・純資産

基準価額	10,192円
純資産総額	2.2百万円

■分配の推移

2017年 4月	0円
2016年 4月	0円
設定来累計	0円

*分配金は1万口当たり、税引前

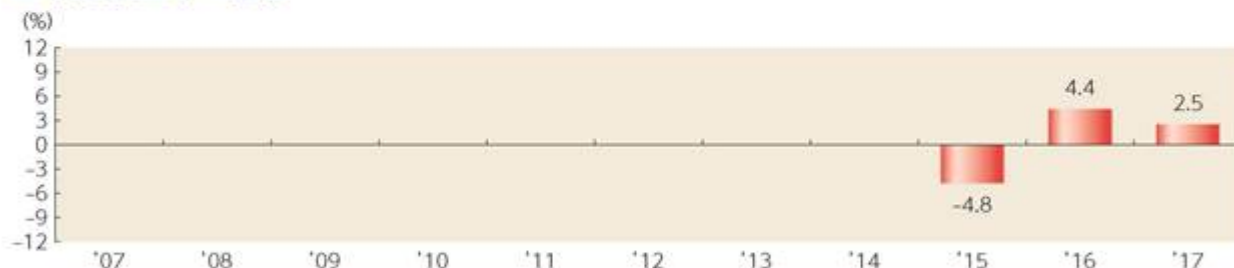
■主要な資産の状況

資産構成	比率	組入上位銘柄	クーポン	償還日	種別	国・地域	比率
マルチセクターバリューボンドファンド	97.8%	1 米国国債	0.000%	2017/11/16	国債	アメリカ	8.43%
-JPYヘッジクラス		2 米国国債	0.000%	2017/11/24	国債	アメリカ	2.93%
マネーマーケットマザーファンド		3 米国国債	1.500%	2019/10/31	国債	アメリカ	2.66%
	0.0%	4 米国国債	1.000%	2046/02/15	国債	アメリカ	2.04%
		5 連邦住宅金融抵当公庫債	4.000%	2046/04/30	資産担保証券・モーゲージ証券	アメリカ	1.78%
		6 米国国債	0.750%	2045/02/15	国債	アメリカ	1.34%
		7 米国国債	1.875%	2022/09/30	国債	アメリカ	0.97%
コールローン他	2.2%	8 連邦住宅金融抵当公庫債	3.500%	2045/03/01	資産担保証券・モーゲージ証券	アメリカ	0.79%
(負債控除後)		9 世界銀行(国際復興開発銀行)	3.500%	2021/01/22	国際機関債	国際機関	0.78%
合計	100.0%	10 米国国債	0.000%	2017/11/09	国債	アメリカ	0.76%

- 比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

- 比率は実質的な投資を行う外国投資信託の純資産総額に対する投資比率(小数点第三位四捨五入)
- 国・地域は、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスの分類を採用、分類されていない場合はアムンディ・パイオニア・インスティテュショナル・アセット・マネジメント・インクによる独自の分類を採用しています。

■年間収益率の推移

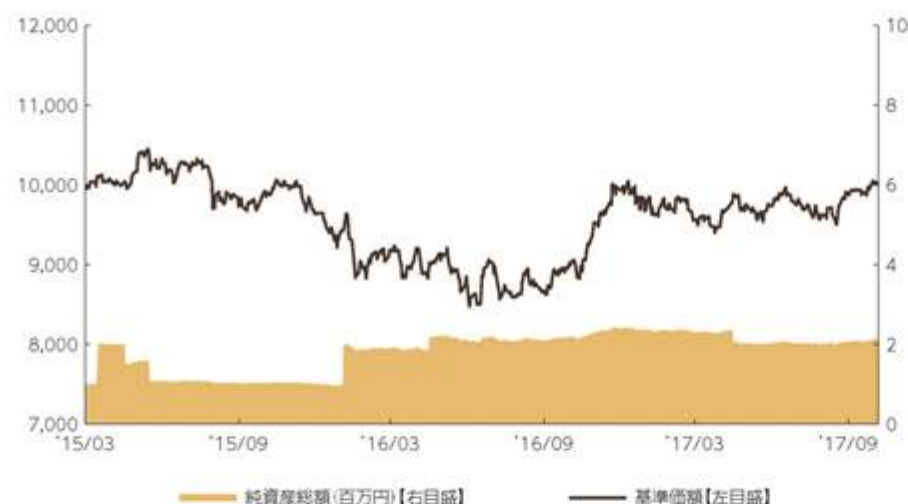


- 収益率は基準価額で計算
- 2015年は設定日から年末までの、2017年は年初から10月31日までの収益率を表示
- ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

為替ヘッジなし

■基準価額・純資産の推移 2015年3月25日(設定日)～2017年10月31日



- 基準価額は10,000を起点として表示
- 基準価額は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■基準価額・純資産

基準価額	9,998円
純資産総額	2.1百万円

■分配の推移

2017年4月	0円
2016年4月	0円
設定来累計	0円

•分配金は1万口当たり、税引前

■主要な資産の状況

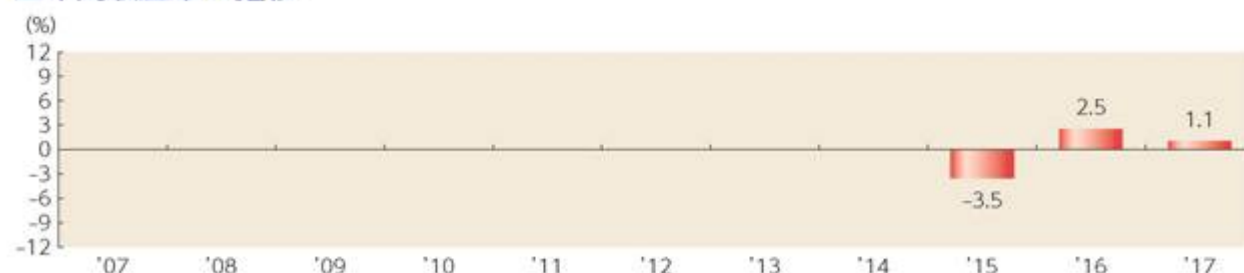
資産構成	比率
マルチセクター・バリュー・ボンドファンド -JPY/ノンヘッジクラス	97.8%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0%
コールローン他 (負債控除後)	2.2%
合計	100.0%

- 比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

組入上位銘柄	クーポン	償還日	種別	国・地域	比率
1 米国国債	0.000%	2017/11/16	国債	アメリカ	8.43%
2 米国国債	0.000%	2017/11/24	国債	アメリカ	2.93%
3 米国国債	1.500%	2019/10/31	国債	アメリカ	2.66%
4 米国国債	1.000%	2046/02/15	国債	アメリカ	2.04%
5 連邦住宅金融抵当公庫債	4.000%	2046/04/30	資産担保証券・モーゲージ証券	アメリカ	1.78%
6 米国国債	0.750%	2045/02/15	国債	アメリカ	1.34%
7 米国国債	1.875%	2022/09/30	国債	アメリカ	0.97%
8 連邦住宅金融抵当公庫債	3.500%	2045/03/01	資産担保証券・モーゲージ証券	アメリカ	0.79%
9 世界銀行(国際復興開発銀行)	3.500%	2021/01/22	国際機関債	国際機関	0.78%
10 米国国債	0.000%	2017/11/09	国債	アメリカ	0.76%

- 比率は実質的な投資を行う外国投資信託の純資産総額に対する投資比率(小数点第三位四捨五入)
- 国・地域は、ブルームバーグ・パークレイズ・インデックスの分類を採用、分類されていない場合はアムンディ・パイオニア・インスティテューショナル・アセット・マネジメント・インクによる独自の分類を採用しています。

■年間収益率の推移



- 収益率は基準価額で計算
- 2015年は設定日から年末までの、2017年は年初から10月31日までの収益率を表示
- ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

【投資リスク】

■代表的な資産クラスとの騰落率の比較等

下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

為替リスク軽減型

● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移

ファンドの年間騰落率は、2016年3月～2017年10月です。
基準価額(分配金再投資)は、2015年3月末～2017年10月末です。



● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2012年11月末～2017年10月末)
ファンドの年間騰落率は、2016年3月～2017年10月です。



注) 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率は、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

為替ヘッジなし

● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移

ファンドの年間騰落率は、2016年3月～2017年10月です。
基準価額(分配金再投資)は、2015年3月末～2017年10月末です。



● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2012年11月末～2017年10月末)
ファンドの年間騰落率は、2016年3月～2017年10月です。



注) 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率は、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

代表的な資産クラスの指数について

資産クラス	指数名	注記等
日本株	TOPIX(配当込み)	TOPIX(配当込み)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数(TOPIX)に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX(配当込み)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX(配当込み)の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX(配当込み)の算出もしくは公表の停止またはTOPIX(配当込み)の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI(国債)	NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI(国債)はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI(国債)は野村證券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。
先進国債	シティ世界国債インデックス(除く日本)	シティ世界国債インデックス(除く日本)は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

2【設定及び解約の実績】

「三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型>(年1回決算型)」

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	1,512,847	75,864	1,436,983
第2計算期間	236,235	9,818	1,663,400
第3計算期期首から 平成29年10月31日までの期間	526,771	9,848	2,180,323

「三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし>(年1回決算型)」

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	3,075,689	983,320	2,092,369
第2計算期間	329,061	10,838	2,410,592
第3計算期期首から 平成29年10月31日までの期間	49,426	338,921	2,121,097

3【ファンドの経理状況】

【中間財務諸表】

- 1 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)ならびに同規則第38条の3および第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。
なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- 2 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間計算期間(平成29年4月7日から平成29年10月6日まで)の中間財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人により中間監査を受けております。

【三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型>(年1回決算型)】
(1)【中間貸借対照表】

(単位:円)

	第2期 [平成29年4月6日現在]	第3期中間計算期間末 [平成29年10月6日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	45,538	67,157
投資信託受益証券	1,636,632	2,090,712
親投資信託受益証券	1,001	1,001
流動資産合計	1,683,171	2,158,870
資産合計	1,683,171	2,158,870
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬	213	332
未払委託者報酬	8,854	11,157
流動負債合計	9,067	11,489
負債合計	9,067	11,489
純資産の部		
元本等		
元本	1,663,400	2,107,984
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金()	10,704	39,397
(分配準備積立金)	97,192	96,617
元本等合計	1,674,104	2,147,381
純資産合計	1,674,104	2,147,381
負債純資産合計	1,683,171	2,158,870

(2)【中間損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	第2期中間計算期間 自 平成28年 4月 7日 至 平成28年10月 6日	第3期中間計算期間 自 平成29年 4月 7日 至 平成29年10月 6日
営業収益		
受取配当金	32,193	46,174
有価証券売買等損益	34,920	12,094
営業収益合計	67,113	34,080
営業費用		
受託者報酬	212	332
委託者報酬	8,226	11,157
営業費用合計	8,438	11,489
営業利益又は営業損失()	58,675	22,591
経常利益又は経常損失()	58,675	22,591
中間純利益又は中間純損失()	58,675	22,591
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額()	-	24
期首剰余金又は期首欠損金()	45,913	10,704
剰余金増加額又は欠損金減少額	-	6,190
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	6,190
剰余金減少額又は欠損金増加額	273	64
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	64
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	273	-
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金()	12,489	39,397

「三菱UFJ」債券バランスファンド<為替リスク軽減型>（年1回決算型）」

（3）【中間注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
-------------------	---

（中間貸借対照表に関する注記）

	第2期 [平成29年4月6日現在]	第3期中間計算期間末 [平成29年10月6日現在]
1 期首元本額	1,436,983円	1,663,400円
期中追加設定元本額	236,235円	454,432円
期中一部解約元本額	9,818円	9,848円
2 受益権の総数	1,663,400口	2,107,984口
3 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.0064円 (10,064円)	1.0187円 (10,187円)

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区 分	第2期 [平成29年4月6日現在]	第3期中間計算期間末 [平成29年10月6日現在]
1 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありませぬ。	同 左
2 時価の算定方法	売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	同 左 同 左 同 左
3 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によつた場合、当該価額が異なることもありませぬ。	同 左

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

【三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし>(年1回決算型)】
(1)【中間貸借対照表】

(単位:円)

	第2期 [平成29年 4月 6日現在]	第3期中間計算期間末 [平成29年10月 6日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	35,788	60,537
投資信託受益証券	2,292,693	2,027,849
親投資信託受益証券	1,001	1,001
流動資産合計	2,329,482	2,089,387
資産合計	2,329,482	2,089,387
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬	366	347
未払委託者報酬	12,992	11,781
その他未払費用	-	1
流動負債合計	13,358	12,129
負債合計	13,358	12,129
純資産の部		
元本等		
元本	2,410,592	2,091,617
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金()	94,468	14,359
(分配準備積立金)	155,815	134,545
元本等合計	2,316,124	2,077,258
純資産合計	2,316,124	2,077,258
負債純資産合計	2,329,482	2,089,387

(2)【中間損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	第2期中間計算期間		第3期中間計算期間	
	自 平成28年 4月 7日	至 平成28年10月 6日	自 平成29年 4月 7日	至 平成29年10月 6日
営業収益				
受取配当金		46,278		49,082
有価証券売買等損益		66,256		36,074
営業収益合計		19,978		85,156
営業費用				
支払利息		-		1
受託者報酬		359		347
委託者報酬		11,762		11,781
その他費用		-		1
営業費用合計		12,121		12,130
営業利益又は営業損失()		32,099		73,026
経常利益又は経常損失()		32,099		73,026
中間純利益又は中間純損失()		32,099		73,026
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額()		4		5,556
期首剰余金又は期首欠損金()		201,699		94,468
剰余金増加額又は欠損金減少額		96		12,895
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		96		12,895
剰余金減少額又は欠損金増加額		34,157		256
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		34,157		256
分配金		-		-
中間剰余金又は中間欠損金()		267,863		14,359

「三菱UFJ」債券バランスファンド<為替ヘッジなし>（年1回決算型）」

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
-------------------	---

(中間貸借対照表に関する注記)

	第2期 [平成29年4月6日現在]	第3期中間計算期間末 [平成29年10月6日現在]
1 期首元本額	2,092,369円	2,410,592円
期中追加設定元本額	329,061円	10,086円
期中一部解約元本額	10,838円	329,061円
2 元本の欠損 純資産額が元本総額を下回っており、その差額であります。	94,468円	14,359円
3 受益権の総数	2,410,592口	2,091,617口
4 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.9608円 (9,608円)	0.9931円 (9,931円)

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区 分	第2期 [平成29年4月6日現在]	第3期中間計算期間末 [平成29年10月6日現在]
1 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同 左
2 時価の算定方法	売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	同 左 同 左 同 左
3 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同 左

(有価証券に関する注記)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

<参考>

当ファンドの主要投資対象の状況は以下の通りです。

「マネー・マーケット・マザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

(1) 貸借対照表

	[平成29年4月6日現在]	[平成29年10月6日現在]
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	105,240,098	35,992,960
社債券	100,071,000	
現先取引勘定	1,399,999,577	1,199,999,227
未収利息	1,020,000	
流動資産合計	1,606,330,675	1,235,992,187
資産合計	1,606,330,675	1,235,992,187
負債の部		

流動負債		
未払解約金	168,273	10,308,449
未払利息	154	32
流動負債合計	168,427	10,308,481
負債合計	168,427	10,308,481
純資産の部		
元本等		
元本	1,577,152,848	1,203,560,915
剰余金		
剰余金又は欠損金()	29,009,400	22,122,791
元本等合計	1,606,162,248	1,225,683,706
純資産合計	1,606,162,248	1,225,683,706
負債純資産合計	1,606,330,675	1,235,992,187

(注1) 親投資信託の計算期間は、原則として、毎年5月21日から11月20日まで、および11月21日から翌年5月20日までであります。

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
-------------------	---

(貸借対照表に関する注記)

	[平成29年4月6日現在]	[平成29年10月6日現在]
1 期首	平成28年4月7日	平成29年4月7日
期首元本額	5,455,406,819円	1,577,152,848円
期首からの追加設定元本額	1,608,644,541円	266,289,337円
期首からの一部解約元本額	5,486,898,512円	639,881,270円
元本の内訳*		
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	280,450,809円	305,859,102円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	5,226,135円	5,226,135円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	8,898,354円	8,898,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	1,628,029円	1,048,688円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	62,265円	62,265円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	47,179,877円	31,213,655円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	94,134,350円	94,134,350円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	233,263円	635,856円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	3,078,471円	3,078,471円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	294,839,631円	144,500,611円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	89,620円	89,620円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,033,322円	1,033,322円
ブラデスコ ブラジル成長株オープン・マネーボール・ファンド	2,016,964円	2,383,756円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	212,322円	212,322円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	26,506,400円	26,506,400円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	2,272,200円	2,272,200円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	15,211,722円	15,211,722円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	457,302円	457,302円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円	358,088円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	2,100,667円	2,100,667円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,836,590円	3,836,590円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	393,503円	344,406円

ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	5,842,907円	5,946,530円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	9,071,898円	9,071,898円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	3,037,917円	2,016,707円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	1,970,066円	1,970,066円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	43,682,881円	43,682,881円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	217,654円	551,512円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース>(毎月分配型)	407,171円	407,171円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	24,757,365円	88,320,983円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	1,364,852円	1,364,852円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	600,566円	600,566円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	1,647,957円	1,647,957円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,148,614円	1,979,971円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	67,305円	67,305円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	3,491,544円	980,110円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)	31,208,972円	31,208,972円
欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	756,099円	1,714,526円
欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	684,529円	1,514,133円
三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり>(毎月決算型)	491,836円	491,836円
三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	98,368円	98,368円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース>(毎月分配型)	12,561,714円	12,561,714円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(年2回分配型)	69,931円	69,931円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(年2回分配型)	158,381円	158,381円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(年2回分配型)	20,660円	20,660円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(年2回分配型)	40,278円	40,278円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース>(年2回分配型)	955,887円	955,887円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>(毎月分配型)	1,559,264円	1,559,264円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	442,974円	924,121円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	19,658円	19,658円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>(毎月分配型)	19,658円	19,658円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	19,658円	19,658円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり>(毎月決算型)	491,449円	491,449円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	9,828,976円	9,828,976円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	12,234,366円	12,234,366円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース>(年2回分配型)	554,804円	348,598円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型>(毎月決算型)	1,936,118円	1,936,118円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	9,829円	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型>(年1回決算型)	9,829円	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし>(年1回決算型)	9,829円	9,829円

三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	9,834,580円	9,834,580円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	13,128,307円	13,128,307円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	3,730,759円	3,730,759円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	5,059,469円	14,819,878円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>(毎月分配型)	1,395,312円	3,123,514円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	94,930円	2,863,981円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース>(毎月分配型)	10,035,338円	24,184,985円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(年2回分配型)	3,737,703円	3,737,703円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(年2回分配型)	4,117,720円	4,117,720円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(年2回分配型)	686,803円	686,803円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(年2回分配型)	961,645円	961,645円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>(年2回分配型)	608,110円	608,110円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(年2回分配型)	27,087円	243,113円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース>(年2回分配型)	817,350円	1,809,102円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドA>	8,295,446円	3,720,003円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドB>	3,973,777円	979,538円
三菱UFJ/ピムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型>(毎月決算型)	8,473,583円	8,473,583円
三菱UFJ/ピムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	8,859,081円	8,859,081円
三菱UFJ/ピムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型>(年1回決算型)	2,464,335円	2,464,335円
三菱UFJ/ピムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>(年1回決算型)	2,065,331円	2,065,331円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース(為替ヘッジなし)(年1回決算型)	983円	983円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース(為替ヘッジあり)(年1回決算型)	983円	983円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり>(毎月分配型)	5,920,244円	5,920,244円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>(毎月分配型)	9,387,547円	9,387,547円
三菱UFJ/ピムコ トータル・リターン・ファンド 2014	256,356円	256,356円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>(毎月決算型)	3,545,187円	3,545,187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	8,124,755円	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>(年1回決算型)	2,990,177円	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(年1回決算型)	3,377,211円	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム>(毎月分配型)	3,175,643円	8,478,079円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム>(年2回分配型)	679,527円	2,034,594円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム>(毎月分配型)	3,874,252円	8,067,104円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム>(年2回分配型)	1,551,577円	1,551,577円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	9,991,470円	20,075,917円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(年2回分配型)	1,616,484円	1,616,484円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム(毎月決算型)	25,537,767円	25,537,767円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム(毎月分配型)	25,781,668円	25,781,668円

三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム(年2回分配型)	4,824,746円	3,165,280円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム>(毎月分配型)	128,636円	128,636円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム>(年2回分配型)	79,540円	79,540円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム>(毎月分配型)	1,375,824円	1,375,824円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム>(年2回分配型)	1,071,396円	1,071,396円
マルチストラテジー・ファンド(ラップ向け)	491,015円	491,015円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	564,702円	564,702円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース>(年2回分配型)	89,371円	89,371円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型>(毎月決算型)	983円	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	983円	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型>(年1回決算型)	983円	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし>(年1回決算型)	983円	983円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型>(3ヵ月決算型)	3,063,931円	3,063,931円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム>(毎月決算型)	6,324,266円	6,324,266円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,820円	9,820円
スマート・プロテクター90(限定追加型)2016-12	6,313,826円	6,313,826円
米国政策テーマ株式オープン(為替ヘッジあり)		412,412円
米国政策テーマ株式オープン(為替ヘッジなし)		1,188,139円
スマート・プロテクター90オープン		981,933円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり>(資産成長型)		30,440円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>(資産成長型)		118,814円
テンブルトン新興国小型株ファンド		49,097円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり>(毎月決算型)		982円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり>(年2回決算型)		982円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)		982円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>(年2回決算型)		982円
N a v i o インド債券ファンド	885,566円	885,566円
N a v i o マネープールファンド	2,457,672円	2,020,393円
三菱UFJ インド債券オープン(毎月決算型)	39,351円	39,351円
三菱UFJ バランス・イノベーション(債券重視型)	315,194,509円	
三菱UFJ / AMP オーストラリアR E I Tファンド<Wプレミアム>(毎月決算型)	11,293,333円	11,293,333円
バンクローンファンドU S A(為替ヘッジあり)2014-08	11,276,260円	
マネープールファンド(F O F s用)(適格機関投資家限定)	9,895,714円	9,992,032円
M U A Mトピックスリスクコントロール(5%)インデックスファンド(F O F s用)(適格機関投資家限定)	11,492,489円	
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース(為替ヘッジなし)	10,766,608円	10,766,608円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース(為替ヘッジあり)	21,620,196円	21,620,196円
(合計)	1,577,152,848円	1,203,560,915円
2 受益権の総数	1,577,152,848口	1,203,560,915口
3 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.0184円 (10,184円)	1.0184円 (10,184円)

* 当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区分	[平成29年4月6日現在]	[平成29年10月6日現在]
1 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左

2 時価の算定方法	<p>売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。</p> <p>デリバティブ取引は、該当事項はありません。</p> <p>上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>	<p>売買目的有価証券は、該当事項はありません。</p> <p>同 左</p> <p>同 左</p>
3 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>当ファンドに投資する証券投資信託の注記表(金融商品に関する注記)に記載しております。</p>	<p>同 左</p>

(有価証券に関する注記)
該当事項はありません。

(デリバティブ取引に関する注記)
取引の時価等に関する事項
該当事項はありません。

【ファンドの現況】

【三菱UFJ債券バランスファンド<為替リスク軽減型>(年1回決算型)】

【純資産額計算書】

平成29年10月31日現在
(単位:円)

資産総額	2,223,958
負債総額	1,726
純資産総額(-)	2,222,232
発行済口数	2,180,323 口
1口当たり純資産価額(/)	1.0192 (1万口当たり 10,192)

【三菱UFJ債券バランスファンド<為替ヘッジなし>(年1回決算型)】

【純資産額計算書】

平成29年10月31日現在
(単位:円)

資産総額	2,132,270
負債総額	11,540
純資産総額(-)	2,120,730
発行済口数	2,121,097 口
1口当たり純資産価額(/)	0.9998 (1万口当たり 9,998)

<参考>

「マネー・マーケット・マザーファンド」の現況
純資産額計算書平成29年10月31日現在
(単位:円)

資産総額	1,231,874,828
負債総額	38,081
純資産総額(-)	1,231,836,747
発行済口数	1,209,603,017 口
1口当たり純資産価額(/)	1.0184 (1万口当たり 10,184)

4【委託会社等の概況】

(1)【資本金の額】

半期代替書面における「委託会社等の概況」の記載のとおりです。

半期代替書面については、(<http://www.am.mufg.jp/corp/profile/accounting.html>)でもご覧いただけます。

(2)【事業の内容及び営業の状況】

半期代替書面における「事業の内容及び営業の概況」の記載のとおりです。

(3)【その他】

該当事項はありません。

5【委託会社等の経理状況】

半期代替書面における「委託会社等の経理状況」の「冒頭書面」の記載のとおりです。

(1)【貸借対照表】

半期代替書面における「委託会社等の経理状況」の(1)「貸借対照表」の記載のとおりです。

(2)【損益計算書】

半期代替書面における「委託会社等の経理状況」の(2)「損益計算書」の記載のとおりです。

(3)【株主資本等変動計算書】

半期代替書面における「委託会社等の経理状況」の(3)「株主資本等変動計算書」の記載のとおりです。

6【その他】

平成29年7月5日提出済みの有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の記載事項の一部について、内容の更新等を行います。原届出書の更新後の内容を記載する場合は＜更新後＞とします。

有価証券報告書

第一部 ファンド情報

第1 ファンドの状況

1 ファンドの性格

(1) ファンドの目的及び基本的性格

[ファンドの目的・特色]

＜更新後＞

（略）



投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。

- 投資対象とする円建外国投資信託は、アムンディ・パイオニア・インスティテューショナル・アセット・マネジメント・インクが運用を行います。
- 投資対象とする円建外国投資信託において、世界の幅広い種類の公社債等への投資を行うことにより、トータル・リターン(公社債等の利子および値上がりによる収益)の獲得をめざします。
- 公社債等への投資にあたっては、経済、金利および政策動向に関する見通しに基づいて、債券種別の配分比率を変更します。

＜アムンディ・パイオニア・インスティテューショナル・アセット・マネジメント・インクについて＞

- ・アムンディ・パイオニア・インスティテューショナル・アセット・マネジメント・インクはアムンディ・グループの米国ビジネス部門であるアムンディ・パイオニア傘下の運用会社で、1928年にボストンで設立されたパイオニア・インベストメント・グループを起源とします。
- ・アムンディ・グループは、フランスのユニバーサルバンク、クレディ・アグリコール・グループの資産運用部門で、世界トップクラスの運用残高を運用しています。

Amundi Pioneer
ASSET MANAGEMENT

（略）

■ファンドの仕組み

ファンド・オブ・ファンズ方式により運用を行います。



❶ 各ファンド間でスイッチングが可能です。スイッチングの際は、換金するファンドに対して税金がかかります。スイッチングの購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。詳しくは販売会社にご確認ください。

（略）

（３）ファンドの仕組み

委託会社の概況

<更新後>

- ・資本金
2,000百万円（平成29年10月末現在）
（略）
- ・大株主の状況（平成29年10月末現在）
（略）

2 投資方針

（１）投資方針

<更新後>

「三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型>（年1回決算型）」

（略）

当ファンドの運用目標を達成するため、グローバル債券運用で長期の実績を有し、債券運用に強みを持つ会社であるアムンディ・パイオニア・インスティテューショナル・アセット・マネジメント・インクが運用を行う「マルチ セクター バリューストック ファンド - JPYヘッジド クラス」を選定しました。

（略）

「三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし>（年1回決算型）」

（略）

当ファンドの運用目標を達成するため、グローバル債券運用で長期の実績を有し、債券運用に強みを持つ会社であるアムンディ・パイオニア・インスティテューショナル・アセット・マネジメント・インクが運用を行う「マルチ セクター バリューストック ファンド - JPYノンヘッジド クラス」を選定しました。

（略）

(2) 投資対象

<更新後>

(略)

<投資信託証券の概要>

ファンド名	マルチセクターバリューボンドファンド-JPYヘッジドクラス マルチセクターバリューボンドファンド-JPYノンヘッジドクラス					
形態	ケイマン籍・円建外国投資信託					
投資態度	新興国を含む世界の幅広い種類の公社債等(ハイイールド債券を含みます。)への投資を通じて、トータル・リターンを獲得をめざします。公社債等への投資にあたっては、経済、金利および政策動向に関する見通しに基づいて、債券種別の配分比率を変更します。					
主な投資対象	主として米ドル建ての公社債等					
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・通常、純資産総額の80%以上を公社債等に投資します。 ・投資する公社債等の平均格付けは、ポートフォリオ全体で原則としてBBB-格相当以上に維持します。 ・投資適格未満の公社債等への投資比率は、原則として純資産総額の60%以内とします。 ・CCC格以下の公社債等への投資比率は、原則として純資産総額の10%以内とします。 ・米ドル以外の通貨への投資比率は、原則として純資産総額の30%以内とします。うち、新興国通貨への投資比率は、原則として純資産総額の10%以内とします。 ・新興国債券への投資比率は、原則として純資産総額の25%以内とします。 ・同一の発行体が発行する銘柄への投資比率は、原則として取得時において純資産総額の5%以内とします(米国国債や米国政府機関債等を除きます。) ・ポートフォリオの平均実効デュレーション*は、原則として0~8年の範囲で調整します。 ※デュレーションとは、債券の投資元本の回収に要する平均残存期間や金利感応度を意味する指標です。この値が大きいくほど、金利変動に対する債券価格の変動率が大きくなります。 ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。 ・各クラスにおいて、保有外貨建て資産に対し、以下の為替対応を行います。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">JPYヘッジドクラス</td> <td>原則として、純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行います。</td> </tr> <tr> <td>JPYノンヘッジドクラス</td> <td>原則として、為替ヘッジを行いません。</td> </tr> </table>		JPYヘッジドクラス	原則として、純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行います。	JPYノンヘッジドクラス	原則として、為替ヘッジを行いません。
JPYヘッジドクラス	原則として、純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行います。					
JPYノンヘッジドクラス	原則として、為替ヘッジを行いません。					
運用管理費用(信託報酬)	純資産総額の年0.6% ただし、最低報酬額が適用される場合、純資産総額によっては上記の率を超えることがあります。					
その他の費用・手数料	税金、法律関係の費用、監査費用、有価証券等の売買に係る手数料、設立費用、保管費用、借入金・立替金の利息等がかかる場合があります。					
購入時手数料	ありません。					
信託財産留保額	ありません。					
投資運用会社	Amundi Pioneer Institutional Asset Management, Inc.					
設定日	2013年7月31日					
決算日	原則として毎年10月末日					
分配方針	毎月24日(休業日の場合は翌営業日)に分配を宣言することができます。ただし、分配を行わないことがあります。					

(略)

4 手数料等及び税金

(5) 課税上の取扱い

<更新後>

(略)

上記は平成29年10月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

(略)

第二部 委託会社等の情報

第2 その他の関係法人の概況

1 名称、資本金の額及び事業の内容

(1) 受託会社

<更新後>

(略)

資本金の額：324,279百万円（平成29年3月末現在）

(略)

(2) 販売会社

<更新後>

名称	資本金の額 (平成29年3月末現在)	事業の内容
株式会社ゆうちょ銀行	3,500,000 百万円	銀行業務を営んでいます。

3 資本関係

<更新後>

委託会社と関係法人の主な資本関係は次の通りです。(平成29年10月末現在)

(略)

独立監査人の中間監査報告書

平成29年11月8日

三菱UFJ国際投信株式会社
取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大畑 茂 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 和田 渉 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱UFJ債券バランスファンド<為替リスク軽減型>（年1回決算型）の平成29年4月7日から平成29年10月6日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三菱UFJ債券バランスファンド<為替リスク軽減型>（年1回決算型）の平成29年10月6日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成29年4月7日から平成29年10月6日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

三菱UFJ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは中間監査の対象に含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

平成29年11月8日

三菱UFJ国際投信株式会社
取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大畑 茂 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 和田 渉 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱UFJ債券バランスファンド<為替ヘッジなし>（年1回決算型）の平成29年4月7日から平成29年10月6日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三菱UFJ債券バランスファンド<為替ヘッジなし>（年1回決算型）の平成29年10月6日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成29年4月7日から平成29年10月6日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

三菱UFJ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは中間監査の対象に含まれていません。